『誰でもできるタグラグビー　トライセットキャンペーン』
実施レポート

学校名	廿日市市立友和小学校	実施日	平成26年1月～2月
担当教員名	神野　日奈子	実施学年・人数	第6学年1組・21名

学校・学級紹介	廿日市市立友和小学校は、全校児童約250名の中規模校である。児童は、明るく素直で、休憩時間には、外で元気よく遊ぶ姿が見られる。 6年生は、男女の仲が良く、学習だけでなく遊びにおいても学級のみんなで楽しく行うことができる。特に、体育のボール運動においては、互いに声をかけ合いながら練習したり、数え合ったりする姿も見られる。この度初めて行った。タグラグビーでもチームの友達と作戦を話し合い、楽しくゲームを行っていた。
実施内容	◯タグに慣れよう！ [タグとり]…2人組になって、タグを取り合う。 [タグとり鬼ごっこ]…2チームに分かれて、タグを取り合い、取った本数を競い合う。 [王様タグとり]…チームの中で王様を決める。（相手チームには、内緒にしておく。） 王様のタグが取られたら負け。 ◯ボールに慣れよう！ [後方パス]…一列に並び、後方にパスする。 [円陣パス]…チームごとに円になり、右後ろ、左後ろにパスを出す。 [パス＆ラン]…走りながら友達を追い越し、後方にパスを出す。パスをもらったら、友達 を追い越しまたパスを出す。 ◯ゲームを行おう！ ・ルールの確認。 ・4チームに分かれ、総当たり戦でミニゲームを楽しむ。
指導のポイント	・授業のはじめのころ、後ろにパスをすると、ついついメンバー全員が後ろに下がってしまい、攻めていくことができなかった。そこで、後ろにパスを出すことよりも、「ボールを持ったらチームの仲間を追い抜こう。」ということを強調し、練習を行わせた。「もらったら追い抜く」ということを意識し始めると、全員自然と、前へ攻めていくことができるようになった。 ・コートが狭いと、ついついボールに人数が集中してしまい、ゲームにならなかった。そこで、コートを広く取り、運動量を増やす工夫をした。
感想・印象 今後の展望	・タグラグビーのゲームを、大変楽しく行うことができたのはもちろんのこと、タグだけを使って行った、「タグとり鬼ごっこ」や「王様タグとり」を好評だった。 ・ラグビーボールは、「投げにくい、キャッチしにくい、転がり方が予測できない」ので扱いにくいボールですが、その扱いにくさがかえって、おもしろさを生み、運動の上手下手で差がつかないので、誰もが楽しむことができたように思う。